

# 第10回神奈川県空手道選手権大会



重要

## 選手・関係者 伝達事項

選手・関係者は以下の各項を確認の上、大会に臨んで下さい。

### 当日の集合と入場

- ・ 選手の集合及び開場は9:00です。  
スタッフの指示に従い、体育館の正面向かって右側「一般入場口」からご入場下さい。
- ・ アリーナ（試合場階）への入場は選手および「アリーナパス」を貼ったセコンドに限られます。  
それ以外の方は2階席での応援をお願いします。
- ・ 3階席は今大会では使用出来ません。（立入禁止）

### 選手受付（パンフレット配布）と体重測定

- ・ 選手受付は、9:00～9:45の間に自分が試合をするコートで済ませて下さい。  
上限体重のあるクラスの選手のみ、体重測定を行います。  
※規定体重超過の場合は失格。但し体重超過が1kg未満の場合は開会式開始までに一度だけ再計量の機会が与えられます。1kg以上の体重超過の場合は再計量なしで失格。
- ・ 時間を過ぎても受付をしない選手は「欠場者」と見なします。  
(但し、自分の試合開始に間に合い、審判又はコート責任者に申し出た場合は出場可)
- ・ 大会パンフレットはロビーにて選手以外の皆さんにも配布します。パンフレットは無料ですが、お受取りの際に日本赤十字社のチャリティーへご協力いただければ幸いです。

### 会場使用・選手の待機

- ・ 更衣室は男女それぞれの更衣室を使用出来ます。但し、更衣室のスペースに限りがありますので少年部男子は2階席で着替えて下さい。
- ・ ウォーミングアップはアリーナ内「ウォームアップエリア」のみで行なって下さい。
- ・ 「ウォームアップエリア」には極力荷物を置かず、選手が伸び伸び動けるよう配慮をお願いします。
- ・ 選手は自分の試合の3試合前から試合場脇の「選手・セコンド待機席」に座って待機して下さい。  
(1試合前になったら立っても動いても構いません)  
セコンド（1名）は自分が付く選手の試合の時だけフェンス内に入ることが出来ます。  
試合が終わったら速やかに次の試合のセコンドと交代し、選手と一緒にフェンス外に出て下さい。
- ・ 大会スタッフは選手を探すことはしません。  
セコンド・選手の責任において試合の進行状況を把握の上、試合場での準備をして下さい。

### 2階指定席について

今大会では、入場列への割り込みや身勝手な席の確保への対策として、2階席に指定席を設けます。別紙「会場案内図」の2階席1～16のブロックの1列～3列を指定席とし、出場人数に応じて支部・道場に整理券を配布し、当日指定券に引き換えます。指定席の割り当て方法は支部長・担当者

に一任しますので、それに従ってご利用下さい。

## 靴の管理・ゴミのマナー

- ・アリーナは土足厳禁です。靴用ビニール袋の配布は行いません。アリーナに降りる方は必ず靴袋をご自身でご用意下さい。出入口に放置された靴はもちろん、むき出しの靴は置き場所にかかわらず放置靴として20分毎に回収し保管します。紛失しても主催者は責任を負いません。
- ・毎年、靴を紛失する方がいます。地震や災害時に備える意味でも靴は手元に保管して下さい。
- ・ゴミについて…ゴミは分別の上、ゴミ箱（ロビー2ヶ所・アリーナ出入口1ヶ所）に捨てて下さい。

## ★★ 2階客席へのゴミの放置は絶対にしないで下さい！ ★★

身勝手なゴミの放置は武道に関わる者として、または人として恥ずかしいことです。選手たちが全力で臨むこの大会の品位を汚す行為にもなります。絶対におやめください。

- ・全館禁煙…会場内は全て禁煙です。 ※喫煙はロビーを出て右側の「喫煙所」でのみ可能。

## 選手注意事項・大会規定

選手は試合出場に際し下記の規定をよく読み準備をして下さい。規定に違反したまま試合場に上がってしまった場合は『失格』となります。

- ① ゼッケンは必ず背中中央部に縫い付けること。(腰部・お尻は禁止)  
ゼッケンを背中中央部に付けずに試合場に上がった場合は失格。  
※ゼッケンはシール式になっていますが、貼っただけでは動きや汗で剥がれ易いので、縫合で補強して下さい。(テーピング・ガムテープ・安全ピンなどでの代用は不可)
- ② 空手衣は清潔なものを着用し、袖・裾はまくらないこと。又、上衣の袖を切る場合は短くなり過ぎぬ様(腕を下ろした状態で肘が隠れる長さ)にすること。
- ③ 選手が着用する道着に認められるのは、(1) 胸の極真會の刺繍 (2) 総本部公認道着の一撃の刺繍 (3) 所定箇所の名前(上衣の裾織マーク上部)のみとする。  
それ以外のワッペン・所定箇所以外の刺繍・サイン等がある場合はそれらを必ず白い布で縫合して隠すこと。(テーピング・ガムテープ等での代用は不可)
- ④ 検印(サイン)のないテーピングは一切認められない。  
テーピングの必要がある場合は大会ドクター(救護室又はドクター席)まで申し出て「検印」(又はサイン)をもらうこと。※テーピングは負傷箇所の保護に限って使用が許されている。従って、補強・予防を目的としたテーピングは一切認められない。
- ⑤ マウスガードの装着義務があるクラスで、歯の矯正・治療等の正当な理由があり装着出来ない場合は、歯科医師の診断書等を大会ドクターに提出して許可をもらうこと。
- ⑥ 防具類は「防具規定」(大会要項に添付)に則したものを装着すること。又、ファールカップ(女子は下腹部サポーター)は必ず道着の中に着用すること。
- ⑦ 女子が道着の中に着るTシャツは白色無地の物に限られる。 ※但し、道着着用時に見えないワンポイントのマーク・模様は可。
- ⑧ 髪をとめる場合は金属製のピンなどは使わず、髪でゼッケンが隠れない纏め方をすること。
- ⑨ 大腿部に掛かる下着類(スパッツ等)は着用禁止。
- ⑩ 貴金属類(指輪、ピアス、ネックレス等)は外すこと。
- ⑪ 公認防具の修繕等が必要な場合は、その防具の目的(保護・安全性)を損なわない範囲で行なう

こと。それ以外の加工を施した防具の使用は認められない。  
また、劣化して保護性を失った防具も、使用を認められないことがある。

**※ 規定の服装・防具を準備し、自分の試合順までに試合場で待機する事は選手・セコンドの責任において行うこと。規定違反・遅刻で失格となっても主催者・スタッフは一切責任を負いません。**

## セコンドについて

今大会でのセコンドは以下の役割を担う大変重要な役割です。

選手が試合に集中し、力を発揮するためにセコンドの協力は不可欠です。各種書類をコピーするなどして大会スケジュール・規定等を把握し万全なサポートをお願いします。

### 《 大会運営上のセコンドの役割 》

- ・選手が試合順に遅れないよう誘導をする(3試合前に各コート所定の選手待機席へ行く)
- ・規定の服装・防具装着の援助及びチェックをする。(違反のまま試合場に上がると失格)
- ・帯の緩みを防止するため、結び目はビニールテープ又は自己所有の「帯どめ」で固定。
- ・赤帯の使用は一般選手権・女子選手権・新人戦のみ。それ以外のクラスへ出場する選手は拳サポーターとヘッドガードの白赤表示を自分のコーナーの色に合わせること。

### 【セコンド・応援者の禁止事項、マナー】

セコンド・応援者は下記の行為が禁止となります。再三の注意にもかかわらず改善されない場合、審判員・大会スタッフの権限により退場して頂くことがあります。選手の努力を無にすることのないよう十分注意して試合に臨んで下さい。

- ① 判定に対して主催者・審判団を誹謗中傷するような発言や態度
- ② 相手選手を中傷するような言葉や態度、汚い言葉での応援
- ③ 試合場を叩くこと、試合場に身を乗りだしての応援、立ち上がったの応援
- ④ 観客の邪魔になる場所での応援・待機・打合せなど
- ⑤ 試合中の携帯電話・無線機を使用しての応援。メガホン・鳴り物を使用しての応援
- ⑥ 選手が敗退した時などの過剰な怒号・体罰(特に保護者が少年部に対して)
- ⑦ 装飾としての着帽・サングラス。ガムを噛むなど、武道の大会に相応しくない服装や態度
- ⑧ その他、審判員・運営役員・スタッフの指示に従わない行為

## ※要注意!! その他、失格になる場合

- 自分の試合順で名前を呼ばれても試合場に上がらなかった場合、30秒待ってからする『最終コール』で直ちに試合場に上がらない場合は失格となる。
- 出場申込書に記入した身長・体重と当日の身長・体重に±5cm以上・±5kg以上の相違があったとき。
- その他、大会実行委員長・大会最高審判長・審判長が本大会の出場資格に著しく反していると判断した場合。

以上の規定・注意事項は、決して選手を積極的に失格にさせる為のものではありません。今大会が極真会館の大会にふさわしい規律ある格調高い場である為、選手・セコンド・応援者の皆さんの自覚ある行動を宜しくお願いいたします。 押忍。

## 選手の作法・マナー

### ◎挨拶は正しく行うこと

- ◆試合場への入退場、試合の開始・終了時の挨拶は、その場と相手選手を尊重し正しく挨拶をすること。
- 歩きながら・手（十字）だけで行うのではなく、必ず一度足を止めてしっかりと立礼（お辞儀）をすること。また、挨拶は勝敗にかかわらず正しく行うこと。

### ◎正しい作法・態度で試合に臨むこと

- ◆選手は試合中に主審の「止め！」が掛かり開始線に戻った際には、試合場中央を向き互いに向かい合うこと。（正面を向くのは判定を待つ時のみ）
- ◆口頭注意・注意・減点のコールの際には主審の方を向いて一礼すること。
- ◆試合中に服装が乱れた場合は、自分のコーナーを向き正座をして速やかに整えること。
- ◆主審の「止め！」による試合の中断が無いまま、構えを解いたときに入った技は有効となるので注意すること。（副審の笛が鳴っても、主審の「止め！」が掛からなければ試合は続行中）
- ◆選手は試合の開始前・試合中・試合終了時のいかなるときも、ガッツポーズなど感情をあらわす動作・大げさな動作を慎むこと。また「押忍！」の挨拶は短く大きく発し、奇声・雄叫びにならないようにすること。
- ◆判定の際は後ろの旗をキョロキョロ見たりせず、直立不動で待つこと。

### ◎開会式・表彰式・閉会式

- ◆整列時は自然体（不動立ち）で、無駄な動きをせずに参加すること。
- ◆入賞した選手は表彰式が始まったら速やかに参加できるよう待機していること。
- ◆賞状・トロフィ・メダルを受け取る際、プレゼンターとの握手は全て両手で行うこと。

## 観戦のマナー

### ◎国旗掲揚・国歌吹奏

- ◆国旗掲揚の際は、直立不動で掲揚台に真っ直ぐ向きしょう。

### ◎来賓挨拶では静粛に

- ◆来賓の方々が挨拶される時は、私語を慎み話している方を向いて聞くようにしましょう。

上記いずれの場合も、小さいお子さんが大声を出したり、走り回ったりしないよう保護者の方の配慮をお願いいたします。

☆大会に関する最新情報は、横浜港南支部公式webサイト内「神奈川県大会横浜カップwebページ」をご覧ください。 <http://www.dawing.com/kyokushin/> 極真 横浜港南 で検索

